



発行:日本労働組合総連合会鳥取県連合会  
発行人:田中 穂 編集人:金田 慎一  
住所:〒680-0847 鳥取市天神町30-5  
TEL(0857)26-6605 FAX(0857)26-6615  
E-mail:tottori@tottori.jtuc-rengo.jp  
ホームページ:https://jtuc-tottori.jp

## 労働組合活動を次世代につなげていくために —「労組リーダーセミナー」開催—



写真上/講師:濱田弁護士

講義は参加者との対話を交えた形式で進められ、組合員から相談があったとき、組合役員としてどのように対応したら良いのかなどの対処法について質疑応答が繰り返されました。「まずは事実確認を行い、制度に照らし合わせて説明する」、「問題解決に当たって制度の改訂や要求などが必要であれば、組合の立場で会社と交渉することが大切」など、実際に起こりうる事例に参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、労働組合としてのこれからの重点課題やこれまでの歴史、そして労働組合の役割についても学び、不当労働行為が行われ会社と協議が成立しない場合

「労働組合の必要性」  
講師 鳥取県労働委員会  
公益委員 濱田由紀子  
弁護士 弁護士

「次世代役員と考える」  
講師 連合鳥取  
吉田 正副事務局長  
キホンのキ

「私たちは楽しい労働運動にしなければならぬ。みんなのための労働組合であると日頃から声掛けを行い、会社には私たちが働く思いをしっかりと伝える。そして、組合員でよかつたと思えるように取り組もう」との思いを伝えられました。

「労働組合の必要性」  
講師 鳥取県労働委員会  
公益委員 濱田由紀子  
弁護士 弁護士

「次世代役員と考える」  
講師 連合鳥取  
吉田 正副事務局長  
キホンのキ

自身は労働組合を結成した経緯や必要性について、経験談をもとに講義が行われました。


「労働組合の必要性」  
講師 鳥取県労働委員会  
公益委員 濱田由紀子  
弁護士 弁護士

「次世代役員と考える」  
講師 連合鳥取  
吉田 正副事務局長  
キホンのキ


合は、都道府県労働委員会へ救済の申立てをしてほしいと説明されました。

連合鳥取は10月1日(土)、「2022労組リーダーセミナー」を倉吉市中部教育会館において開催し、全県の単組より中堅役員を中心に41人が参加しました。組合の若年層が減少する中で、労働組合が果たしてきた役割と果たすべき役割を共有し、労働組合・労働運動の必要性に対する意識の醸成と、次代を担うリーダーの育成を目的とした講演が行われました。

### 参加者の声

**運輸労連ヤマト運輸労働組合**  
清水 康恵さん

濱田弁護士の「労働組合の必要性」、吉田連合鳥取副事務局長の「次世代役員と考えるキホンのキ」、どちらの講義を聞いても、「労働組合って会社にとっても社員にとっても必要な存在なんだ」と思った。社員みんなが働きやすい環境を作るためにも、私たち組合役員がもっと労働運動に取り組むべきだと改めて思った。

**全水道鳥取支部**  
田中 大樹さん

実体験や講演資料の労働組合員数の推移等から、近年、組合活動及び組合自体への関心が下がっているように思う。私自身、今回の講演で初めて知ることが多くあり、組合について学ぶ必要があると感じた。組合員全体で、改めて組合活動について学び、組合の必要性について考える必要性を感じた。

## 働くことを軸とする安心社会の実現で 「誰一人取り残されることのない」地域社会をめざして — 2023年度政策・制度要求 鳥取労働局へ提出 —

連合鳥取は毎年、鳥取労働局に対し「政策・制度要求」を提出しています。本年も、10月21日(金)、田中穂会長他4人の役員が鳥取労働局へ出向き、15項目にわたる内容の要求書を山本浩司鳥取労働局長へ手交しました。「経済・雇用・労働政策」の項目では、今回、「性にかかわらず育休が取得しやすい環境の整備」について、男性の育児参加を推進し、女性が出産を機に退職を迫られることのないよう、10月からスタートした「産後パパ育休」の周知を追加し求めました。

### 要請項目

- I. コロナ禍における雇用・生活対策 / 5 項目
- II. 経済・雇用・労働政策 / 6 項目
- III. 最低賃金の履行確保 / 1 項目
- IV. 安全衛生対策 / 2 項目
- V. 就職差別の撤廃 / 1 項目



山本鳥取労働局長(左)へ要請書を手交する田中会長



意見交換の様子

## 連合の森づくり —「大山ブナ林復元運動」地づくり・植樹作業に参加—

連合鳥取は「自然環境保全」活動として、下記の通り「大山ブナ林」復元運動に取り組むことを確認しています。

①昨年度に引き続き「大山ブナを育成する会」を支援連携して活動を進める。

また、連合鳥取としての支援体制を継続する。

②引き続き、「大山ブナを育成する会」地づくり作業に協力する。加えて、今後の活動のあり方について関係機関と協議を進める。

そこで、10月1日(土)を皮切りに毎週土曜日(5回・うち8日は雨天のため中止)、東・中・西部地域協議会の協力を得て、大山において大山ブナを育成する会が主催する「ブナのトンネル森づくり(地づくり・植樹作業)」に参加しています。

大山ブナを育成する会はこれまで約1,500本のブナを植樹しており、大山ブナ林の復元をめざして取り組みを行っています。

ブナは花が咲くまで約50年、実がなるまで約80年必要とのことで、今回植樹したブナが大きく育った姿を見ることはできませんが、人の手によって失われたブナ林を復元するために、今できることを少しずつでも取り組むことの大切さを学ぶ良い機会となっています。



## 福祉事業団体「学習会」に56人参加!

10月24日(月)、白兔会館において「鳥取県労働・福祉事業四団体運営協議会(連合鳥取・鳥取県労働者福祉協議会・中国労働金庫鳥取県営業本部・こくみん共済coop鳥取推進本部)」主催による合同研修会を開催しました。

講演では、避けられない災害に備え、生命を守ること、災害からの復旧について考察することを学びました。

その後、VR(仮想現実)による災害疑似体験を行いました。

■講演 「近年多発する異常気象に潜む身近なリスク」  
～災害を知る・地域を知る・人を知る～

講師/鳥取市危機管理課防災支援係長

谷島孝子さん  
防災コーディネーター 山下行正さん



VR体験の様子

## 東部地協発

## 人権の基礎を学ぶ

## 「労組対象研修会」に40人参加



講師/下吉所長

東部地域協議会は10月20日(木)、とりぎん文化会館において、倉吉市人権文化センター所長の下吉真二さんを講師に招き、『部落問題とわたし～水平社宣言100年にあたって～』をテーマに講演いただきました。

まず、現在東京高裁で行われている『全国部落調査裁判』について、下吉さんが証人尋問の証言台に立ち渾身の想いをぶつけたお話しや、「現在行われている第2審は必ずや完全勝利をめざし差別の被害者を救済する法制度の確立にはずみをつけよう」と訴えられました。

次に部落差別の歴史について、遠く平安時代から当時の民衆や権力者から差別されながらも、特別な能力・知識・技術・文化によって、その時代にはなくてはならない役目や仕事を担い、その時代の生活や文化を支えてきた歴史などについて詳しく語っていただき、現在に至る差別問題などの重要性を考えられるよい研修会となりました。(寄稿/全水道鳥取支部 重國直人さん)



メモを取りながら熱心に聞く参加者

## 女性委員会発

## よりよい職場環境の実現に向けて —「産別交流会」開催—

女性委員会は、参加いただいたみなさんが体験談や意見等を交換する中で、共感や新たな気づき、そして、今後の活動の参考となる交流ができることをめざして「産別交流会」を開催しています。

今年度は10月15日(土)、JA鳥取中央赤碕支所にて、2年ぶりに対面での開催をすることができ17人の参加がありました。

前半は、連合鳥取の吉田正副事務局長による連合に関するクイズを交えた講演、後半は連合鳥取女性委員会の寺田真里委員長によるヨガ体験という構成で実施しました。

### ■研修「教えて!れんごうのこと。」 講師/連合鳥取 吉田 正副事務局長

私は女性委員会の役員ではありますが、恥ずかしながら「連合」についてほとんど知識がありませんでした。そんな中での吉田副事務局長のお話は興味深く、組合員として知っておくべきことばかりだと感じました。印象に残った言葉は、組織を一つにしていこうために大切にしてきたことで「顔合わせ 力合わせ 心合わせ」という言葉です。多くの人をまとめて、思いを一つにするということは簡単ではないと思います。よりよい職場環境の実現に向けて声を上げ、活動する組合の存在に守られていることを改めて感じました。

### ■ヨガ体験

講演終了後は、1時間ヨガを通じて身体をほぐしました。ゆったりとした音楽の中で、目を閉じて、身体を伸ばしたことでスッキリしていいリフレッシュになりました。

今回学んだこと、体験したことを、職場の仲間にも共有したいと思います。

(寄稿/女性委員会幹事 奥田理恵さん)



写真上/講師:吉田副事務局長



ヨガ体験の様子

## 西部地協発

## 若いうちから交流と学習を深め「労働運動」に活かしていこう! —青女フォーラム「ボウリング大会」開催—



「西部地協青女フォーラム」は10月15日(土)、YSPボウルにて「懇親ボウリング大会」を開催しました。参加者は6産別から11人(うち女性3人)でした。

今回の目的は産別間の交流を深めるだけでなく、ストライクの数に応じて大山ブナを守る会に活動費を寄付することに決め、大山の環境を守るためにみんなが汗を流しました。

「西部地協青女フォーラム」はメーデー大会で抽選会のコーナーを担当するなど、西部地域協議会の各種活動に参画するとともに、「学習会」で労働組合の基本を学んだり、直近では「未来を考えるセミナー」に参加して政治情勢、経済状況などについての学習も行っています。

## 鳥取退職者連合発

## 「第30回定期総会」&「全県学習会」を開催

鳥取退職者連合は、9月30日(金)、国民宿舎水明荘(湯梨浜町)において、代議員27人・執行部16人・傍聴3人の出席で「第30回定期総会」を開催しました。

### ■第30回定期総会

原 進代議員(NTT労組退職者の会)を議長に選出し、山田敏明会長あいさつ、来賓の田中穂連合鳥取会長、湯原俊二衆議院議員から激励の言葉をいただきました。村上泰二朗さんも駆けつけて参議院議員選挙でのお礼を述べられました。その他のご来賓のみなさんは時間の都合上ご紹介をして、その後、早速議事に入りました。議事では、2022年度の活動総括と会計決算報告ならびに2023年度活動方針・予算と役員を満場一致で決定しました。

### ■全県学習会

総会前段に、日本退職者連合の早川行雄副事務局長を講師に迎え、「『次世代に継承すべき社会とは』…退職連合30周年ビジョンが描く社会像」と題し「全県学習会」を開催しました。「誰もが自分の生き方を自由に選択できる社会」は、連合結成時から歌われている「幸せさがし」に通じるものという内容に、参加者2人から積極的な意見や質問がありました。

また、学習会冒頭には、9月9日に急逝された 故 齋木兵治顧問(前会長/JR西労組)に、参加者全員で黙祷を捧げました。



定期総会の様子



全県学習会の様子  
写真上/講師:早川副事務局長



# 湯原俊二

— 緑肥の想い —

## 子育て・教育、雇用、 社会保障の充実は、経済政策。

私は、暴言で有名な明石市の泉市長を訪ね、子育て・教育政策を勉強させていただきました。子育て・教育政策を徹底的に充実、前進させることで、出生数も増え、近隣自治体からの人口流入も増え人口が増加しています。また、子育て・教育における親の負担を軽減することで、浮いたお金が消費に回り、商店街は売り上げの増加、景気が良くなっています。もちろん人口流入増、人口増によって不動産業界や建設業界も好調です。結果として、税収の増加になり、その財源で高齢者政策も充実させています。好循環になっています。

以前から申し上げているように、子育て・教育、雇用、社会保障を充実させることが、国民の暮らしを守ると同時に、個人消費の増加、経済政策になります。

政権交代し、政策を変えなければなりません。

※インターネットで **衆議院TV** → **湯原俊二** を検索ください。  
過去の発言風景がご覧になれます。

湯原さんのホームページもご覧ください



QRコードからも  
つながります



JR連合JR西労組米子地方本部  
「第32回定期大会」(2022.8.26)



鳥取退職者連合「第30回定期総会」  
(2022.9.30)

### “ザ・議員”

#### おざき 尾崎 かおる 鳥取県議会議員

税を学ぶ=主権者教育

毎年、小・中・高校生に租税教室をしています。それは税を知り、税に責任を持ち、国・地域づくりを“自分事”で出来る”人づくりの主権者教育だと思っています。

教えるのは5つ。

- ①どんな税があるか(53種類!)
- ②どんな集め方をするのか  
(集め方は公平になるよう工夫が必要)
- ③税金が無かったらどうなる?  
(道路も学校も自分でつくる?)
- ④何に使うか?(この点が大事!)
- ⑤だれが使い道を決める?  
(そう、議員です。議員を決め、国の形を決めるのはあなたです。責任重大!)

これから国づくり、地域づくりをする生徒さんたち、みなが熱心に学んでいます!



租税教室の様子

#### ながつか ひろのぶ 長東 博信 南部町議会議員

みなさんこんにちは。いつもお世話になっています。

「424の公的病院 再編統合必要」と厚生労働省が2019年9月26日に病院名を公表しました。県内で、岩美、西伯、日南、済生会境港が対象とされましたが、地域にはなくてはならない医療と福祉です。

2020年12月に特別委員会を立上げ(私は副委員長)、地域医療のあるべき姿、病院の経営計画等研究調査をこれまで10回重ねてきました。コロナの影響もありましたが、この夏8月17日に病院事業管理者、病院長、病院開設者の町長へ「病院経営に係る提言書」をまとめ提出しました。

今後とも町民の健康・福祉、地域医療提供、経営等が適切に行われるようチェックしていきます。



写真左から/  
副町長・副議長・議長・私(長東)・委員長・町長・院長・事業管理者

### 「創り育てる平和」を継承

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻から8カ月が過ぎ、日々、状況変化していますが、いまだにロシア軍による無差別攻撃により多くの市民が犠牲となり、ウクライナで暮らす人々の自由と安全が脅かされ続けています。▼ロシアの蛮行は国際秩序の破壊であり、ウクライナの領土と主権を武力によって侵す行為は国連憲章違反の「侵略戦争」以外の何物でもなく、断じて許されません。▼世界の安全保障の緊張を高め、再び「力による平和」の理論が強まる中、日本が同盟国に同調し「軍備を増強すれば平和を守れる」との拙速な抑止論は軍拡競争を招くばかりか「真の平和」をもたらしません。▼私たちは過去に学び、未来を展望し、77年前の「不戦の誓い」を新たに世界の恒久平和の実現に向けて取り組まなければなりません。▼働く仲間とも連帯し断固、ロシアによるウクライナ軍事侵攻を非難し、即時停止と撤退を強く求めるとともに、「戦争の悲惨さ」「核兵器の非人道性」を訴え続け、「創り育てる平和」を継承・強化していくことが重要と考えます。

(箕敷屋へいや)

